



2014年2月3日

各 位

会 社 名：東 京 瓦 斯 株 式 会 社
代表者名：代 表 取 締 役 社 長 岡 本 毅
（コード：9531 東証・名証第1部）
問合せ先：財 務 部 IRグ ル ー プ マネージャー 坂 田 一
（T E L. : (03) - 5400 - 3888）

2014年3月期 第3四半期決算 アナリスト向け決算説明資料

標記のアナリスト向け決算説明資料を、添付のとおり公表いたします。

以上

2013年度第3四半期決算説明会



2014年1月31日

1. 2013年度第3四半期決算概要



2013年度3Q実績(2013.4.1 - 12.31) <対前年度実績>

ポイント 増収減益

(+ - , +/- ▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	+999	+	都市ガス売上増	(+460:数量減▲453(内気温分▲169)、スライド差+867等)
		+	LNG販売売上増	(+182:数量増等)
		+	海外売上増	(+58:プルート稼働増、バーネット権益取得等)
営業費用	▲1,110	-	都市ガス原材料費増	(▲567:数量減+257(内気温分+57)、為替▲1,083、油価+263等)
		-	LNG販売営業費用増	(▲178:数量増等)
		-	海外営業費用増	(▲64:プルート稼働増、バーネット権益取得等)
営業利益	▲112	-	都市ガス利益減	(▲110:ガス粗利▲107(うち気温影響▲112))
経常利益	▲186	-	営業外収支の悪化	(▲73:為替差損の拡大▲57、専用設備料収入の剥落▲22、等)

(単位: 億円)

	2013年度3Q	2012年度3Q	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	10,130	10,825	▲695	▲6.4%
売上高	14,353	13,354	+999	+7.5%
営業費用	13,474	12,364	+1,110	+9.0%
営業利益	878	990	▲112	▲11.3%
経常利益…①	831	1,017	▲186	▲18.3%
当期純利益	551	640	▲89	▲13.8%
気温影響…②	▲91	21	▲112	—
スライドタイムラグ…③	176	132	44	—
年金数理差異償却額…④	▲16	▲33	17	—
補正経常利益①-(②+③+④)	762	897	▲135※	▲15.1%
補正当期純利益	506	560	▲54	▲9.6%

※▲135:ガス販売量減▲47(気温・トーリング影響▲149控除後)、器具・工事+22、海外事業▲6、営業外▲73、その他のセグメント利益等▲31

経済フレーム(3Q)	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)	年金	運用利回り ※コスト控除後	期末資産(億円)
今回実績	99.36	109.44	20.4	2013年度3Q	0.06%	2,710
前年度実績	79.95<+19.41>	113.98<▲4.54>	19.7<+0.7>			

<> 内対前年度増減

期待運用収益率:2%

連結ガス販売量3Q実績

<対前年度実績>

前年度実績→今年度実績

▲695百万m³ (▲6.4%)の減少
[うち気温影響▲141百万m³, ▲1.3%の減少]

■ 家庭用 ▲119百万m³ (▲5.5%)

- 気温要因 ▲118百万m³
- 日数影響 ▲6百万m³
- お客さま件数 +28百万m³
- その他 ▲23百万m³

■ 業務用 ▲27百万m³ (▲1.3%)

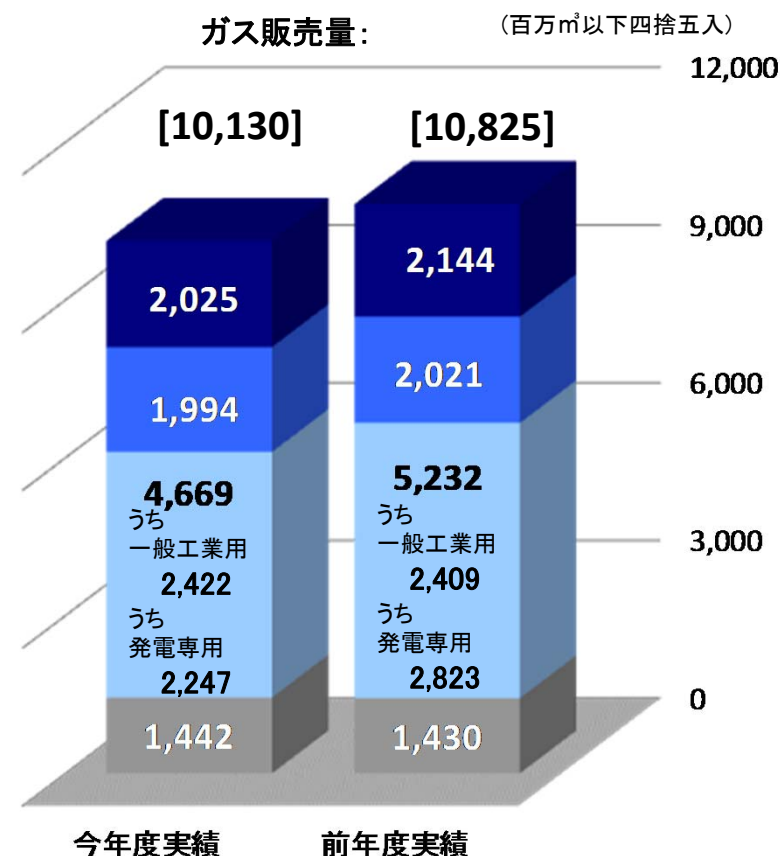
- 気温要因 ▲13百万m³
- 日数影響 ▲4百万m³
- お客さま件数 +1百万m³
- その他 ▲11百万m³

■ 工業用 ▲563百万m³ (▲10.8%)

- 一般工業用: +13百万m³
- 発電専用: ▲576百万m³
 トーリング影響 ▲709百万m³
 鹿島地区増分 +68百万m³ 他

■ 卸 +12百万m³ (+0.9%)

- 気温要因 ▲10百万m³
- その他 +22百万m³
 卸供給事業者需要増等



お客さま件数(万件)

2013.3Q実績	2012.3Q実績	増減
1,105.7	1,093.3	+12.4 (+1.1%)

	2013年度3Q	2012年度3Q	増減
LNG液販売量(千t、ニジオ向け除く)	550	383	+167
平均気温(°C)	20.4	19.7	+0.7

トーリング移行によるガス販売量変化 <対前年度実績>

3Q実績

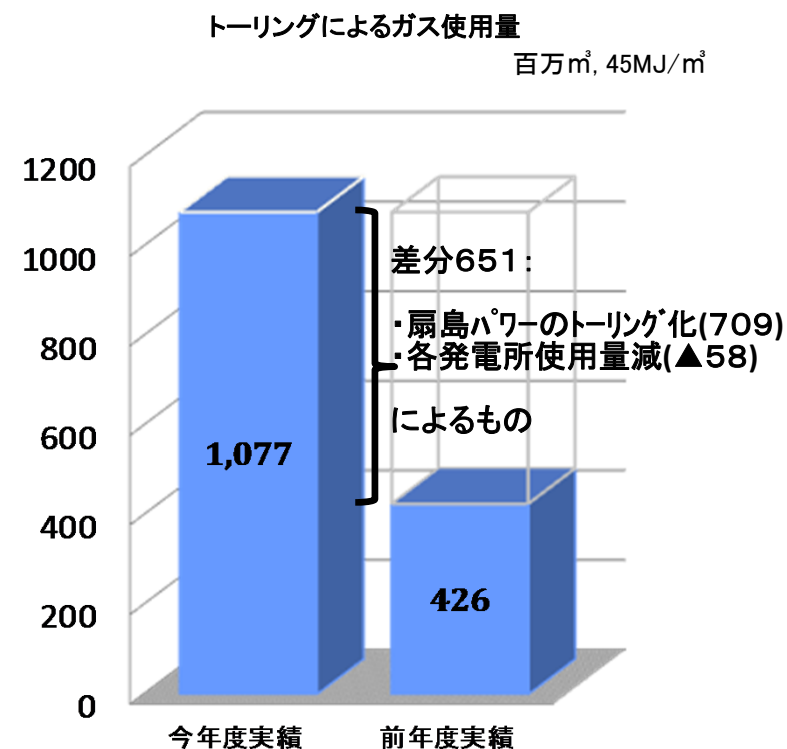
■ トーリングによるガス使用量込(単位:百万m3)

	2013年度 3Q	2012年度 3Q	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	10,130	10,825	▲695 ▲6.4%
トーリングによる ガス使用量	1,077	426	+651 +152.6%
合計	11,207	11,252	▲45 ▲0.4%

■ 工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	291	1,955	2,247
対前年度実績	+ 68(+30.4%)	▲644※(▲24.8%)	▲576 (▲20.4%)
一般工業用	127	2,295	2,422
対前年度実績	+69 (+116.6%)	▲55 (▲2.3%)	+13 (+0.6%)
合計	419	4,251	4,669
対前年度実績	+ 136(+48.3%)	▲699 (▲14.1%)	▲563 (▲10.8%)

※うちトーリング移行分: ▲709



トーリング: 電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

2013年度3Q実績 セグメント別売上高・営業損益 <対前年度実績>



(単位:億円)

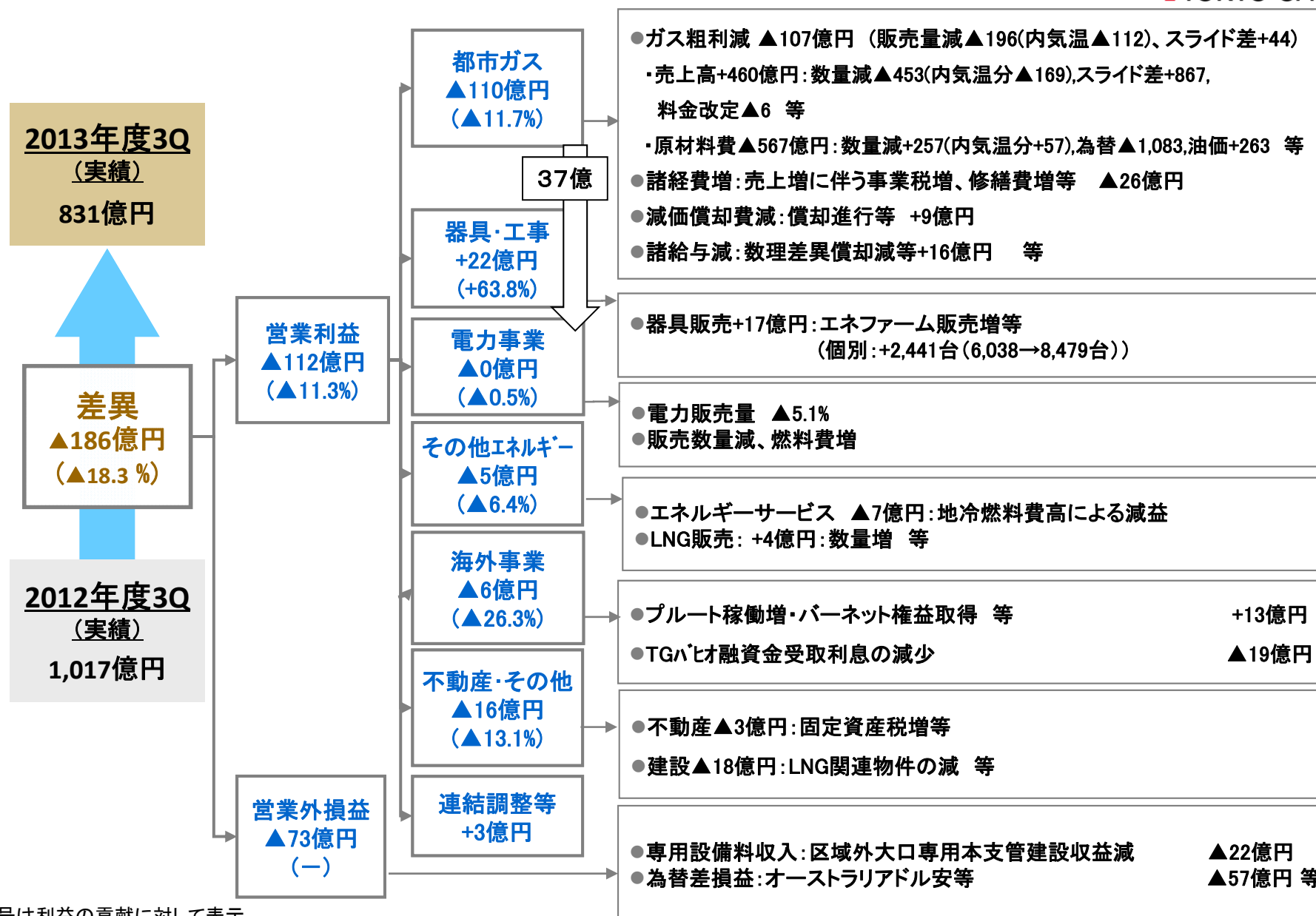
	売上高				セグメント利益			
	2013年度3Q	2012年度3Q	増減	%	2013年度3Q	2012年度3Q	増減	%
都市ガス	10,148	9,688	460	4.8	823	933	▲110	▲11.7
器具及びガス工事	1,521	1,472	49	3.3	55	33	22	63.8
その他エネルギー	2,524	2,406	118	4.9	202	207	▲5	▲2.4
(電力事業)	966	938	28	2.9	140	140	0	▲0.5
不動産	213	226	▲13	▲5.9	45	48	▲3	▲5.6
その他	1,332	1,354	▲22	▲1.6	75	94	▲19	▲20.3
(海外事業)	135	77	58	74.0	18	24	▲6	▲26.3
調整額	▲1,388	▲1,794	406	—	▲324	▲327	3	—
連結	14,353	13,354	999	7.5	878	990	▲112	▲11.3

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
 - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
 - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
 - ・ ()内は内数表示

2013年度3Q実績 経常利益分析

<対前年度実績>

(単位: 億円)



※符号は利益の貢献に対して表示

2. 2013年度 通期見通し



2013年度通期見通し(2013.4.1 - 2014.3.31) <対前回見通し(10月30日発表)>

通期見通しのポイント 増収減益

(+ - , +/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	+60	+	都市ガス売上増	(+172:数量増+91,スライド差+81)	
		+	建設売上増	(+38:エンジニアリング売上増等)	
		+	器具工事売上増	(+20:販売台数増)	
		-	LNG販売売上減	(▲34:販売数量減)	
営業費用	▲150	-	セグメント間連結調整	(▲178:前回見込み間違い等)	
		-	都市ガス原材料費増	(▲260:数量増▲69、為替▲121、油価▲48、LPG単価差等▲22)	
		-	海外営業費用増	(▲30:バーネット費用増▲25等)	
営業利益	▲90	+	セグメント間連結調整	(+187:前回見込み間違い等)	(単位:億円)
		-	都市ガス営業利益減	(▲66:ガス粗利▲88(内数量増+22、スライドタイムラグ▲110))	
		-	海外営業利益減	(▲34:バーネット費用増▲25等)	

	今回見通し	前回見通し(10/30)	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	14,609	14,483	+126	+0.9%	15,390	▲781	▲5.1%
売上高	20,860	20,800	+60	+0.3%	19,156	+1,704	+8.9%
営業費用	19,360	19,210	+150	+0.8%	17,700	+1,660	+9.4%
営業利益	1,500	1,590	▲90	▲5.7%	1,456	+44	+3.0%
経常利益...①	1,430	1,530	▲100	▲6.5%	1,474	▲44	▲3.0%
当期純利益	970	1,030	▲60	▲5.8%	1,016	▲46	▲4.6%
気温影響...②	▲81	▲85	+4	—	29	▲110	—
スライドタイムラグ...③	111	221	▲110	—	▲124	+235	—
年金数理差異償却額...④	▲22	▲22	0	—	▲44	+22	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	1,422	1,416	+6※	+0.4%	1,613	▲191	▲11.8%
補正当期純利益	965	955	+10	+1.0%	1,109	▲144	▲13.0%

※+6:ガス販売量増+18(気温影響4控除後)、ガス固定費減+22、器具工事+8、海外▲34、その他のセグメント利益減等▲8

4Q原油価格・為替レート変動 粗利影響感度	4Q	経済フレーム (通年)	為替レート (¥/\$)	原油価格 (\$/bbl)	平均気温 (°C)	年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率	期末資産 (億円)
		今回見通し	100.77	109.58	17.1	2012年度	6.10%	1.4%	2,760
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	▲1	前回見通し	99.43(+1.34)	108.83(+0.75)	17.0(+0.1)	2011年度	5.13%	1.7%	2,540
円・ドルレートが¥1/\$円安	▲17	2012年度	82.91<+17.86>	113.88<▲4.30>	16.6<+0.5>				

()内対前回増減、<>内対前年度増減

期待運用収益率:2%

連結ガス販売量見通し

前回見通し → 今回見通し

+126百万m³ (+0.9%)の増加
[うち気温影響+12百万m³, +0.1%の増加]

■ 家庭用	+14百万m ³ (+0.4%)
● 気温要因	+6百万m ³
● 日数影響	+3百万m ³
● お客さま件数	+8百万m ³
● その他	▲3百万m ³

■ 業務用	+11百万m ³ (+0.4%)
● 気温要因	+5百万m ³
● 日数影響	▲1百万m ³
● お客さま件数	▲0百万m ³
● その他	+9百万m ³

■ 工業用	+92百万m ³ (+1.5%)
● 一般工業用:	+69百万m ³
既存設備稼働増等	
● 発電専用:	+22百万m ³
既存設備稼働増等	

■ 卸	+8百万m ³ (+0.4%)
● 気温要因	+1百万m ³
● その他	+7百万m ³
卸供給事業者需要増等	

前年度実績 → 今回見通し

▲781百万m³ (▲5.1%)の減少
[うち気温影響▲115百万m³, ▲0.7%の減少]

■ 家庭用	▲95百万m ³ (▲2.7%)
● 気温要因	▲103百万m ³
● 日数影響	▲6百万m ³
● お客さま件数	+47百万m ³
● その他	▲33百万m ³

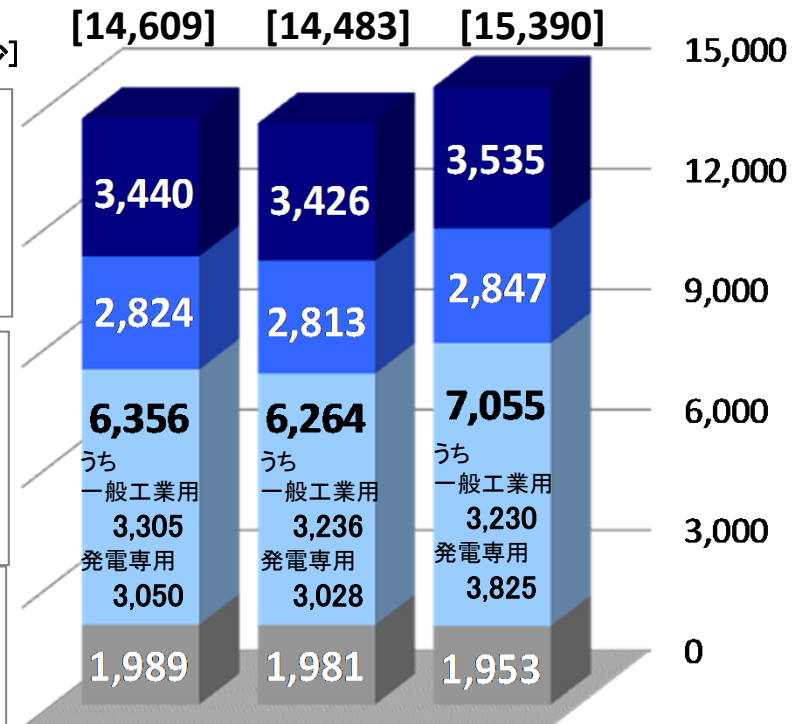
■ 業務用	▲23百万m ³ (▲0.8%)
● 気温要因	▲5百万m ³
● 日数影響	▲4百万m ³
● お客さま件数	+1百万m ³
● その他	▲15百万m ³

■ 工業用	▲699百万m ³ (▲9.9%)
● 一般工業用:	+75百万m ³
鹿島地区稼働増等	
● 発電専用:	▲774百万m ³
トーリング影響	▲969百万m ³
鹿島地区増分	+217百万m ³ 等

■ 卸	+36百万m ³ (+1.9%)
● 気温要因	▲7百万m ³
● その他	+43百万m ³
卸供給事業者需要増等	

ガス販売量:

(百万m³以下四捨五入)



	今回見通し	前回見通し	増減
LNG液販売量 (千t、ニジオ向け除く)	748	790	▲42
平均気温(℃)	17.1	17.0	+0.1

お客さま件数(万件)

今回見通し	前回見通し	増減
1,112.0	1,110.5	+1.5(+0.1%)

トーリング移行によるガス販売量変化

2013年度見通し

●トーリングによるガス使用量込

百万m³, 45MJ/m³

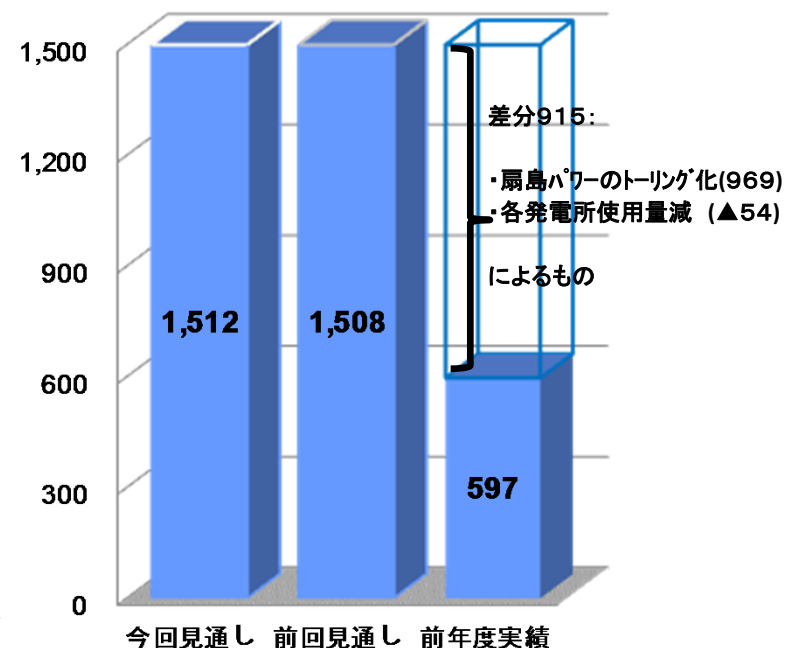
	今回 見通し	前回 見通し	増減	前年度 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	14,609	14,483	+126 +0.9%	15,390	▲781 ▲5.1%
トーリングによる ガス使用量	1,512	1,508	+4 +0.3%	597	+915 +153.4%
合計	16,121	15,991	+130 +0.8%	15,986	+135 +0.8%

今回見通し販売量の2020ビジョンベース: 17,055百万m³

●工業用ガス販売量内訳 (単位: 百万m³)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	532	2,518	3,050
(対前回見通し)	+45(+9.2%)	▲23(▲0.9%)	+22(+0.7%)
(対前年実績)	+217(+68.8%)	▲991※(▲28.2%)	▲774(▲20.2%)
一般工業用	174	3,132	3,305
(対前回見通し)	+6(+3.7%)	+63(+2.1%)	+69(+2.1%)
(対前年実績)	+84(+94.4%)	▲10(▲0.3%)	+75(+2.3%)
合計	706	5,650	6,356
(対前回見通し)	+51(+7.8%)	+40(+0.7%)	+92(+1.5%)
(対前年実績)	+301(+74.5%)	▲1,001(▲15.0%)	▲699(▲9.9%)

トーリングによるガス使用量



※トーリング: 電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

※うちトーリング移行分: ▲969

2013年度見通し セグメント別売上高・営業損益 <対前回見通し(10月30日発表)>



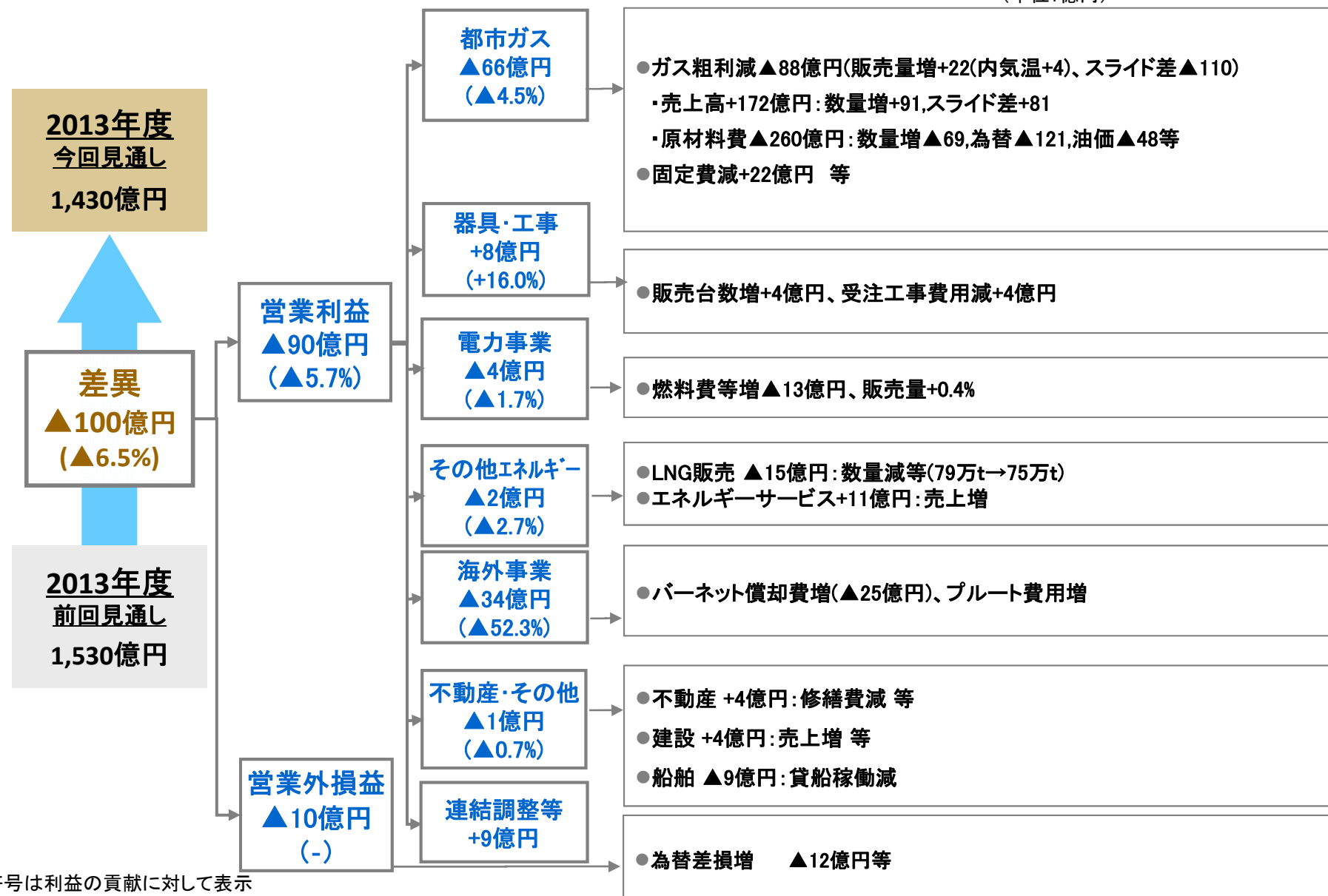
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前回見通し	増減	%	今回見通し	前回見通し	増減	%
都市ガス	14,922	14,750	172	1.2%	1,402	1,468	▲66	▲4.5%
器具及びガス工事	2,134	2,114	20	0.9%	58	50	8	16.0%
その他エネルギー	3,505	3,488	17	0.5%	298	304	▲6	▲2.0%
(電力事業)	1,348	1,339	9	0.7%	226	230	▲4	▲1.7%
不動産	283	282	1	0.4%	55	51	4	7.8%
その他	1,954	1,926	28	1.5%	110	149	▲39	▲26.2%
(海外事業)	227	231	▲4	▲1.7%	31	65	▲34	▲52.3%
調整額	▲1,938	▲1,760	▲178	—	▲423	▲432	9	—
連結	20,860	20,800	60	0.3%	1,500	1,590	▲90	▲5.7%

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
 - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
 - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
 - ・ ()内は内数表示

2013年度見通し 経常利益分析 <対前回見通し(10月30日発表)>

(単位: 億円)



※符号は利益の貢献に対して表示

2013年度見通し セグメント別売上高・営業損益 <対前年度実績>

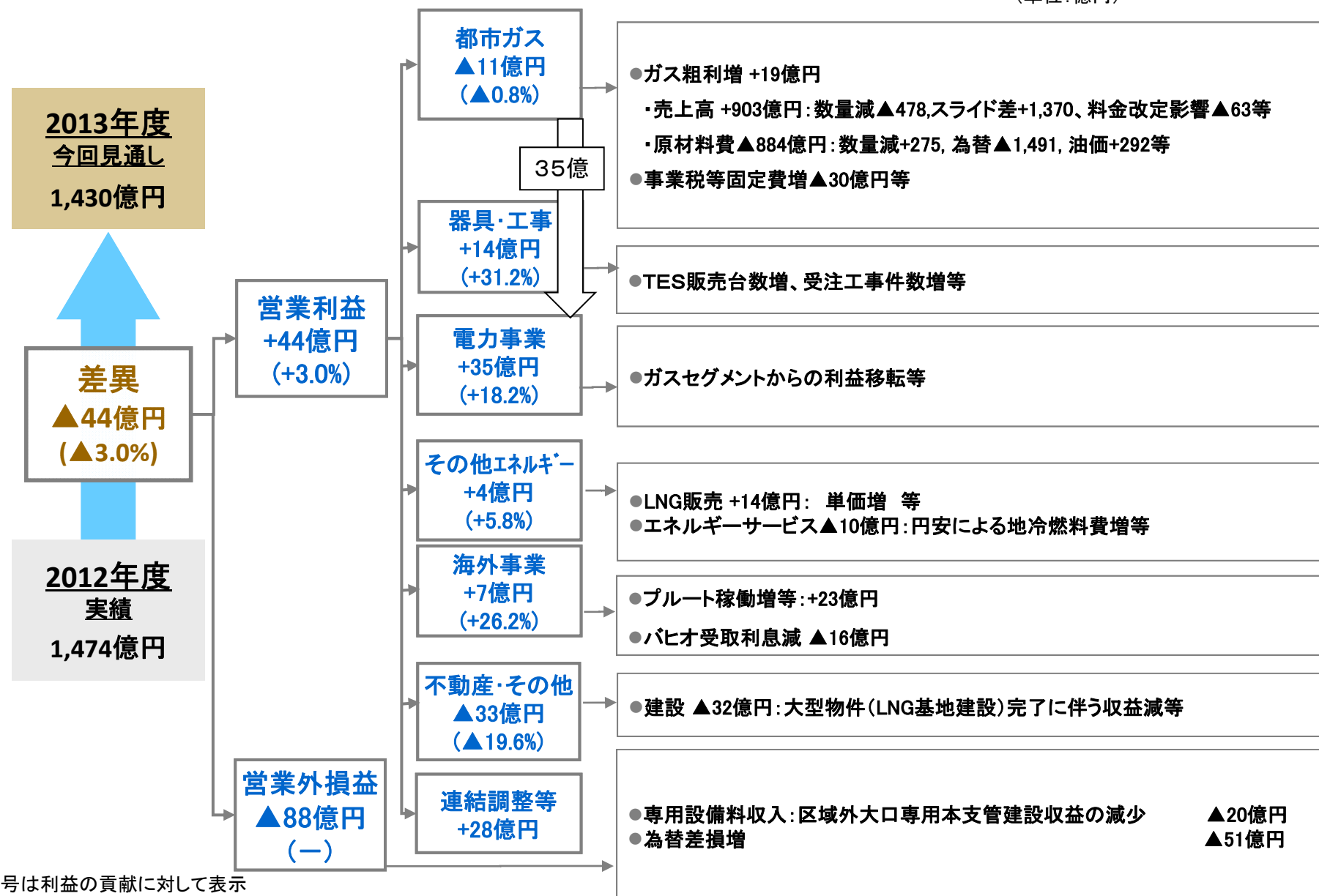
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	2012年度	増減	%	今回見通し	2012年度	増減	%
都市ガス	14,922	14,019	903	6.4%	1,402	1,413	▲11	▲0.8%
器具及びガス工事	2,134	2,060	74	3.6%	58	44	14	31.2%
その他エネルギー	3,505	3,366	139	4.1%	298	259	39	14.9%
(電力事業)	1,348	1,270	78	6.1%	226	191	35	18.2%
不動産	283	302	▲19	▲6.5%	55	56	▲1	▲1.8%
その他	1,954	1,957	▲3	▲0.2%	110	135	▲25	▲18.7%
(海外事業)	227	124	103	82.9%	31	24	7	26.2%
調整額	▲1,938	▲2,550	612	—	▲423	▲451	28	—
連結	20,860	19,156	1,704	8.9%	1,500	1,456	44	3.0%

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
 - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
 - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
 - ・ ()内は内数表示

2013年度見通し 経常利益分析 <対前年度実績>

(単位: 億円)



2013年度 キャッシュフローの使途

設備投資

設備投資	主な件名	【参考】前回見通し
東京ガス： 1,375億円 (▲50億円, ▲3.5%)	製造設備 : 284億円 (±0億円) 日立LNG基地建設等	東京ガス： 1,425億円
	供給設備 : 906億円 (▲27億円) 茨城～栃木等幹線整備、需要開発関連等	
	業務設備等: 184億円 (▲23億円) システム関連投資、田町開発関連等	
連結子会社計： 1,140億円 (▲14億円, ▲1.2%)	海外上流投資 726億円 オンサイトエネルギーサービス169億円(ENAC)他	連結子会社計： 1,154億円
合 計 2,480億円 (▲60億円, ▲2.4%, 連結消去後)		合計: 2,540億円 (連結消去後)

※ () 内増減は対2013年度前回見通しの数値

投融资

▲86億円(海外事業等12億円+融資回収▲98億円、対前回(117)見通し▲203億円:無件名案件200億円の未支出)

株主還元

627億円(TG個別分・キャッシュフローベース、対前回見通し変更なし)
(12年度期末及び13年度中間配当267億円、13年度自社株取得額360億円合計)

2013年度 資金計画(連結)

所要資金と資金調達

【年度見通し】

(単位:億円)

所要資金		対前回見通し 増減	資金調達			対前回見通し 増減
設備投資	2,480	▲60	自己資金	減価償却等	1,390	0
その他投融資※	▲86	▲203		経常利益	1,430	▲100
決算資金	736	+54		その他	7	▲138
自社株取得	360	0		計	2,827	▲238
償還・返済 (個別分)	532 (392)	+2 (0)	外部資金 (個別分)		1,195 (1,104)	+31 (+31)
計	4,022	▲207	計		4,022	▲207

有利子負債残高

2012年度末:6,425億円

2013年度末見通し:7,240億円(対前回見通し+120億円(上記調達純増+29億円に加え外貨借入時価評価換を含む))

※その他投融資は、投入金と融資金返済による相殺後。

年度内に発行・償還される季節運転資金としてのCPは、上記表には含まれていない。

主要計数表(連結)

(単位: 億円)

	2013年度 今回見通し	2013年度 前回見通し	2012年度 実績
総資産 (a)	21,230	20,840	19,924
自己資本 (b)	9,970	9,740	9,276
自己資本比率 (b)/(a)	47.0	46.7%	46.6%
有利子負債 (c)	7,240	7,120	6,425
D/E レシオ (c)/(b)	0.73	0.73	0.69
当期純利益 (d)	970	1,030	1,016
減価償却 (e)	1,390	1,390	1,387
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,360	2,420	2,404
設備投資 (Capex)	2,480	2,540	1,837
ROA: (d) / (a)	4.7	5.1%	5.3%
ROE: (d) / (b)	10.1	10.8%	11.5%
TEP	502	577	598
WACC	3.2%	3.2%	3.2%
総分配性向	60%程度予定	60%程度予定	60.7%

注: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)
 BS関連数値は各期末時点の数値
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益
 * 発行済株式総数: 2,517,551,295株(2013年12月31日現在)

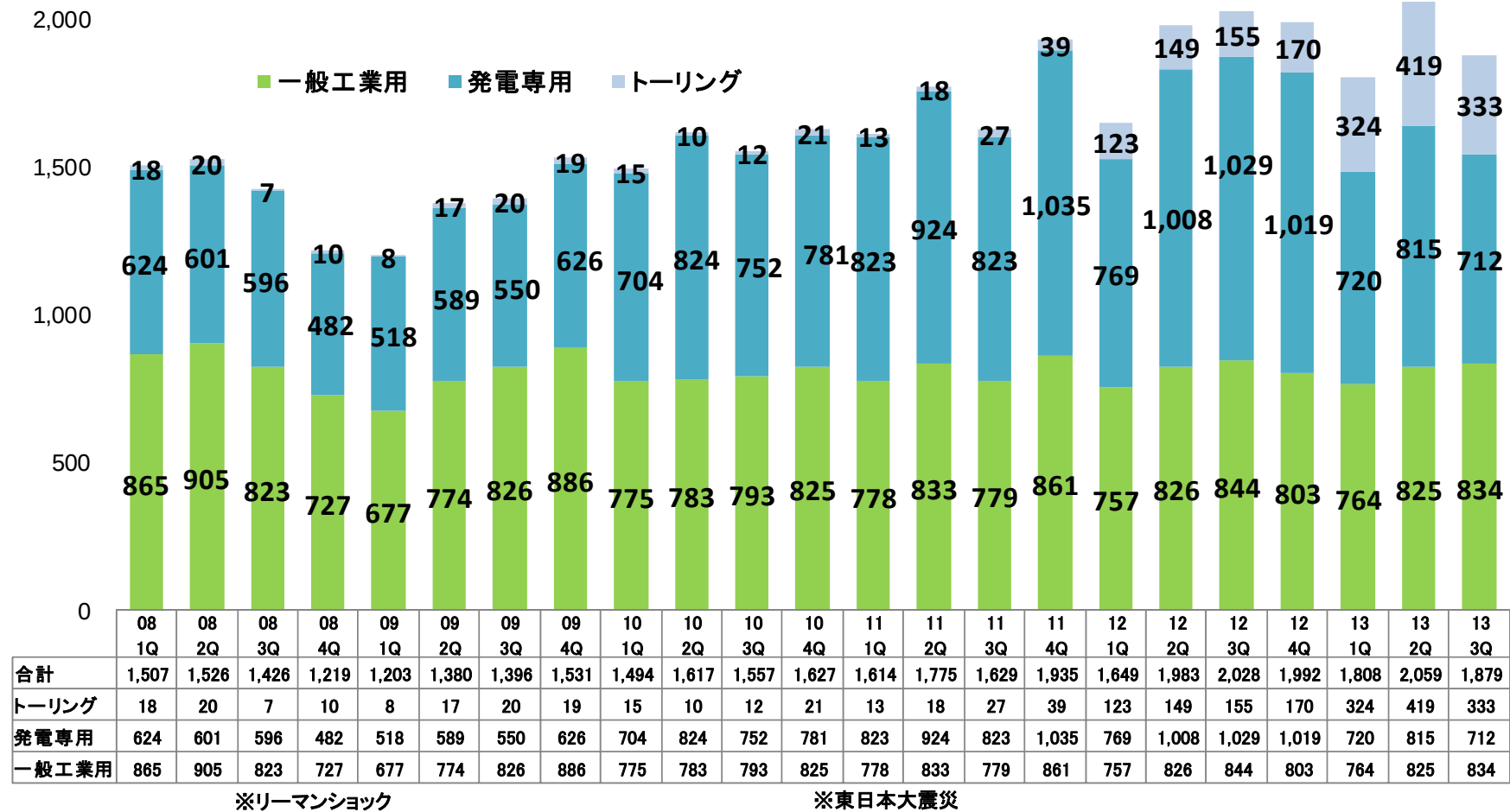
TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について
 TEP = NOPAT - 資本コスト (投下資本 × WACC)
 WACC 算定諸元 (2013見通し)
 ・有利子負債コスト 金利 1.6%
 ・株主資本コスト率 10年国債利回過去10年平均 1.3%
 ・リスクプレミアム 4.0% β 0.75
 ・自己資本 = 平均時価総額

3. 参考資料

工業用ガス販売量(トーリングによるガス使用量含む)の推移(四半期毎)

連結工業用ガス販売量推移

(百万m³, 45MJ/m³)





＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531

参考資料

	ページ
実績編	
・ 連結 主要決算数値（13年度 対 12年度）	1
・ 個別 主要決算数値（13年度 対 12年度）	2
・ 連結 営業主要計数 内訳（13年度 対 12年度）	3
・ 連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	4
見通し編	
・ 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度	5
・ 連結 主要決算数値（今回見通し 対 前回見通し）	6
・ 個別 主要決算数値（今回見通し 対 前回見通し）	7
・ 連結 営業主要計数内訳（今回見通し 対 前回見通し）	8
・ 連結 主要決算数値（今回見通し 対 12年度）	9
・ 連結 営業主要計数内訳（今回見通し 対 12年度）	10
・ 連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	11

実績編

連結 主要決算数値(13年度 対 12年度)

億円

	FY13 3Q	FY12 3Q	増減		備考
売上高	14,353	13,354	999	7.5%	都市ガス+460(単価増)、その他エネルギー+118(LNG販売+182)
営業利益	878	990	▲ 112	▲11.3%	都市ガス▲110、その他事業▲19、器具及びガス工事+22
経常利益	831	1,017	▲ 186	▲18.3%	為替影響▲57(▲45←12)、専用設備料収入▲22(5←27)
当期純利益	551	640	▲ 89	▲13.8%	関係会社株式売却益▲29(0←29)、減損損失▲15(▲21←▲6)、投資有価証券評価損+33(0←▲33)、固定資産売却益+6(6←0)他

総資産 ※	20,608	19,924	684	3.4%	有形・無形固定資産+806(設備投資+1,746、償却▲1,027)、投資その他の資産+224、流動資産▲345(譲渡性預金▲640、売掛金131)
自己資本 ※	9,451	9,276	175	1.9%	当期純利益551、為替換算調整勘定+142、株式評価差額金+99(評価益<441←300>)、自己株式市場買付▲359、配当金支払▲267
自己資本比率 ※ (%)	45.9%	46.6%	-0.7	—	総資産の増加率(+3.4%)に対し、自己資本の増加率(+1.9%)が小さかったため減少
総資本回転率 (回転)	0.71	0.71	0.00	—	
有利子負債残高 ※	7,589	6,425	1,164	18.1%	東京ガス+1,072
当期純利益	551	640	▲ 89	▲13.8%	
減価償却(*2・3)	1,027	1,020	7	0.6%	TGフルート+8(個別ベース)
営業キャッシュ・フロー(*1)	1,578	1,661	▲ 83	▲4.9%	
設備投資(*2)	1,746	1,179	567	48.1%	
1株当たり当期純利益 (円/株)	21.91	24.89	▲ 2.98	▲12.0%	当期純利益減(▲89)により減少
1株当たり純資産 ※ (円/株)	376.38	360.70	15.68	4.3%	

FY12 3Q数値は、P/L系の項目は前年同四半期数値を表示、B/S系の項目は前期末(2013年3月末)数値を表示(※印付き項目)

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

個別 主要決算数値(13年度 対 12年度)

第3四半期実績

億円

	今期	前期	増減	
総売上高	13,011	11,874	1,137	9.6%
営業利益	657	675	-18	-2.6%
経常利益	678	799	-121	-15.1%
当期純利益	462	524	-62	-11.7%

料金スライドの収支への影響

	今期	前期	増減
料金によるスライド回収	1,176	311	865
原料費の増加分	1,003	179	824
差し引き	173	132	41

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今期	前期	増減
原油価格	109.44	113.98	-4.54
為替レート	99.36	79.95	19.41

億円

	今期	前期	増減	
製品売上高(ガス売上高)	9,896	9,090	806	8.9%
営業費用				
原材料費	6,344	5,483	861	15.7%
(粗利)	(3,552)	(3,607)	(-55)	(-1.5%)
諸給与	699	725	-26	-3.6%
諸経費	1,732	1,702	30	1.7%
減価償却費	746	753	-7	-1.0%
LNG受託加工費	-35	-36	1	-
計	9,487	8,629	858	9.9%
受注工事収支	0	-4	4	-
器具販売等収支	94	88	6	7.2%
営業雑収支	95	83	12	14.7%
附帯事業収支	154	132	22	16.7%
営業利益	657	675	-18	-2.6%
営業外収支	20	123	-103	-83.5%
経常利益	678	799	-121	-15.1%
特別利益	0	9	-9	-
特別損失	21	39	-18	-
法人税等	194	244	-50	-
当期純利益	462	524	-62	-11.7%

数量・料金構成差▲72億円、単価差+878億円

数量・原料構成差+40億円、単価差+821億円(為替影響+1,083、油価影響+263)

数量・構成差▲112億円、単価差+57億円

数理計算上の差異費用▲17億円、人員減 他

詳細は下記参照

償却の進行に伴う減▲7億円

新設件数増 他

器具収支 温水システム+6億円 他

電力販売+19億円、LNG販売+4億円 他

関係会社受取配当▲64億円(今期51、前期115)、専用設備料収入▲21億円 他

前期:投資有価証券等売却益9億円

今期:固定資産減損損失21億円、前期:投資有価証券評価損33億円、固定資産減損損失6億円

諸経費

億円

	今期	前期	増減	
修繕費	261	252	9	3.5%
消耗品費	105	107	-2	-2.0%
賃借料	136	134	2	1.5%
委託作業費	472	474	-2	-0.3%
租税課金	332	319	13	4.2%
需要開発費	157	163	-6	-3.6%
その他	269	253	16	5.8%

製造設備修繕費+5億円、ガス栓対策引当差額+3億円 他

売上高増に伴う事業税+11億円 他

[前年度]大口営業展示会開催 他

光熱費+7億円、本支管除却費+4億円 他

個別 営業主要計数(13年度 対 12年度)

第3四半期実績

お客さま件数

千件

	今期	前期	増減	
お客さま件数	10,756	10,634	122	1.1%
新設件数	150	143	7	4.7%

個別ガス販売実績

百万m3

			今期	前期	増減			
家庭用1件当り販売量(㎡)			216.6	232.3	-15.7	-6.8%	気温影響▲12.7㎡(▲5.6%)、日数差異▲0.7㎡(▲0.3%)、その他▲2.3㎡(▲0.9%)	
家庭用			1,961	2,077	-116	-5.6%	気温影響▲117百万㎡(▲5.6%)、日数差異▲6百万㎡(▲0.3%)、件数差+26百万㎡(+1.2%)、その他増減▲19百万㎡(▲0.9%)	
業務用	商業用		1,252	1,274	-22	-1.7%		
	その他用		630	638	-8	-1.3%		
業務用計			1,882	1,912	-30	-1.6%	気温影響▲13百万㎡(▲0.7%)、その他増減▲17百万㎡(▲0.9%)	
工業用	発電専用		2,246	2,114	132	6.3%	需要の増加等	
	発電専用以外		2,282	2,266	16	0.7%		
	工業用計			4,528	4,380	148	3.4%	
計				6,409	6,292	117	1.9%	
卸供給				1,615	1,599	16	1.0%	気温影響▲10百万㎡(▲0.6%)、卸先需要家の既存物件稼働増+26百万㎡(+1.6%)
合計				9,986	9,968	18	0.2%	気温影響▲140百万㎡(▲1.4%)、発電専用+132百万㎡(+1.3%)、工業用(発電専用以外)+16百万㎡(+0.2%)、卸供給(気温影響除き)+26百万㎡(+0.3%)、その他▲16百万㎡(▲0.2%)
(内大口供給)				5,397	5,259	138	2.6%	

連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳

営業キャッシュフロー

実績（今期３Ｑ 対 前期３Ｑ）

億円

＜連結＞		当期	前年同期	増減	
	当期純利益	551	640	-89	-13.8%
	減価償却	1,027	1,020	7	0.6%
営業CF(当期純利益＋減価償却)		1,578	1,661	-83	-4.9%

＜個別＞		当期	前年同期	増減	
	当期純利益	462	524	-62	-11.7%
	減価償却	773	782	-9	-1.2%
営業CF(当期純利益＋減価償却)		1,235	1,306	-71	-5.4%

設備投資内訳

実績（今期３Ｑ 対 前期３Ｑ）

億円

		実績	前年同期	増減	
東京ガス	製造設備	191	131	60	45.1%
	供給設備	586	558	28	4.9%
	業務設備他	90	77	13	16.7%
	計	868	768	100	13.0%
連結子会社設備投資*		877	410	467	113.7%
合計		1,746	1,179	567	48.1%

製造設備：日立LNG基地関連他＋60億円

供給設備：安定供給関連＋18億円、保安関連他＋10億円

業務設備他：その他業務設備他＋13億円

連結子会社設備投資：海外投資（バーネット）他

*連結相殺含む

見通し編

個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

経済フレーム

	今回1/31見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	107.68	111.38	109.58	\$/bbl
為替レート	98.86	102.73	100.77	円/\$
	前回10/30見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	107.66	110.00	108.83	\$/bbl
為替レート	98.86	100.00	99.43	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	0.02※	1.38	0.75	\$/bbl
為替レート	0.00	2.73	1.34	円/\$

※9月原油価格について、前回の速報値を今回確報値に更新したため

原油価格・為替レート変動の年度収支影響感度 億円

1\$/bbl	4Q	年度
売上高	0	0
原料	▲ 1	▲ 1
粗利	1	1

※油価が1\$下がった場合の収支影響

1円/\$	4Q	年度
売上高	▲ 5	▲ 5
原料	▲ 22	▲ 22
粗利	17	17

※為替が1円円高になった場合の収支影響額

連結 主要決算数値(今回見通し 対 10/30見通し)

億円

	今回 (1/31)	前回 (10/30)	増減		備考
売上高	20,860	20,800	60	0.3%	
営業利益	1,500	1,590	▲ 90	▲5.7%	都市ガス▲66(単価差)、海外▲34(費用増)
経常利益	1,430	1,530	▲ 100	▲6.5%	同 上
当期純利益	970	1,030	▲ 60	▲5.8%	主として、経常利益の増減によるもの

総資産	21,230	20,840	390	1.9%	
自己資本	9,970	9,740	230	2.4%	
自己資本比率 (%)	47.0	46.7	0.3	—	
総資本回転率 (回転)	1.01	1.02	▲ 0.01	—	
ROA(*2) (%)	4.7	5.1	▲ 0.4	—	
ROE(*2) (%)	10.1	10.8	▲ 0.7	—	
有利子負債残高	7,240	7,120	120	1.7%	
D/Eレシオ	0.73	0.73	—	—	
	当期純利益	970	1,030	▲ 60	▲5.8%
	減価償却(*3・4)	1,390	1,390	0	—
営業キャッシュ・フロー(*1)	2,360	2,420	▲ 60	▲2.5%	
設備投資(*3)	2,480	2,540	▲ 60	▲2.4%	
TEP	502	577	▲ 75	▲13.0%	
(WACC)	3.2%	3.2%	—	—	
1株当たり当期純利益 (円／株)	38.55	40.93	▲ 2.38	▲5.8%	
1株当たり純資産 (円／株)	397.01	387.84	9.17	2.4%	
総分配性向(*5)	(*6) —	—	—	—	

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益＋減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(*5) n 年度総分配性向＝ $((n$ 年度の年間配当金総額) $+(n+1$ 年度の自社株取得額) $)÷(n$ 年度連結当期純利益)

(*6)2020年度に至るまで各年度6割程度とします

個別 主要決算数値(今回見通し 対 10/30見通し) 通期見通し

	億円			
	今回	前回10/30	増減	
総売上高	18,880	18,710	170	0.9%
営業利益	1,150	1,220	-70	-5.7%
経常利益	1,150	1,220	-70	-5.7%
当期純利益	790	840	-50	-6.0%

料金スライドの収支への影響

	今回	前回10/30	増減
料金によるスライド回収	1,784	1,703	81
原料費の増加分	1,669	1,479	190
差し引き	115	224	-109

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今回	前回10/30	増減
原油価格	109.58	108.83	0.75
為替レート	100.77	99.43	1.34

億円					
		今回	前回10/30	増減	
製品売上高(ガス売上高)		14,550	14,380	170	1.2%
営業費用	原材料費	9,366	9,106	260	2.9%
	(粗利)	(5,184)	(5,274)	(-90)	(-1.7%)
	諸給与	933	940	-7	-0.7%
	諸経費	2,447	2,462	-15	-0.6%
	減価償却費	1,018	1,023	-5	-0.5%
	LNG受託加工費	-48	-47	-1	-
	計	13,716	13,484	232	1.7%
	受注工事収支	9	6	3	50.0%
	器具販売等収支	104	98	6	6.1%
営業雑収支		113	104	9	8.7%
附帯事業収支		203	220	-17	-7.7%
営業利益		1,150	1,220	-70	-5.7%
営業外収支		0	0	0	-
経常利益		1,150	1,220	-70	-5.7%
特別利益		0	0	0	-
特別損失		20	20	0	-
法人税等		340	360	-20	-5.6%
当期純利益		790	840	-50	-6.0%

数量・料金構成差+92億円、単価差+78億円

数量・原料構成差+70億円、単価差+190億円(為替影響+121、油価影響+48)

数量・構成差+22億円、単価差▲112億円

設備科目等への振替増 他

詳細は下記参照

設備取得時期遅れに伴う償却費減他▲5億円

器具収支 一般機器販売台数増 他

電力販売▲3億円、LNG販売▲15億円 他

固定資産減損損失等20億円

	億円			
	今回	前回10/30	増減	
修繕費	366	363	3	0.8%
消耗品費	145	148	-3	-2.0%
賃借料	181	182	-1	-0.5%
委託作業費	646	649	-3	-0.5%
租税課金	460	460	0	0.0%
需要開発費	250	257	-7	-2.7%
その他	399	403	-4	-1.0%

家庭用営業費▲3億円、大口営業費▲3億円

個別 営業主要計数内訳(今回見通し 対 10/30見通し)
通期見通し

お客さま件数

千件

	今回	前回10/30	増減	
お客さま件数	10,810	10,809	1	0.0%
新設件数	226	225	1	0.2%

ガス販売量内訳

百万m3

		今回	前回10/30	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		366.8	366.3	0.5	0.3%	気温影響+0.6m3(+0.2%)、日数差異+0.3m3(+0.1%)、その他▲0.4m3(▲0.1%)
家庭用		3,334	3,321	13	0.4%	気温影響+6百万m3(+0.2%)、日数差異+3百万m3(+0.1%)、件数差異+7百万m3(+0.2%)、その他増減▲3百万m3(▲0.1%)
業務用	商業用	1,764	1,753	11	0.6%	
	その他用	895	897	-2	-0.2%	
業務用計		2,660	2,651	9	0.3%	気温影響+5百万m3(+0.2%)、日数差異▲1百万m3(▲0.1%)、その他増減+5百万m3(+0.2%)
工業用	発電専用	3,050	3,028	22	0.7%	
	発電専用以外	3,119	3,046	73	2.4%	
工業用計		6,170	6,074	95	1.6%	既存物件稼働増
計		8,829	8,725	104	1.2%	
卸供給		2,241	2,234	8	0.3%	気温影響+1百万m3(+0.0%)、卸先需要家の既存物件稼働増+7百万m3(+0.3%)
合計		14,404	14,279	125	0.9%	気温影響+12百万m3(+0.1%)、発電専用+22百万m3(+0.2%)、 工業用(発電専用以外)+73百万m3(+0.5%)、 卸供給(気温影響除き)+7百万m3(+0.0%)、その他+11百万m3(+0.1%)
(内大口供給)		7,372	7,275	96	1.3%	

個別 主要決算数値(今回見通し 対 12年度) 通期見通し

	今回	前期	増減	億円
総売上高	18,880	17,142	1,738	10.1%
営業利益	1,150	1,048	102	9.7%
経常利益	1,150	1,145	5	0.4%
当期純利益	790	785	5	0.6%

料金スライドの収支への影響

	今回	前期	増減
料金によるスライド回収	1,784	415	1,369
原料費の増加分	1,669	536	1,133
差し引き	115	-121	236

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今回	前期	増減
原油価格	109.58	113.88	-4.30
為替レート	100.77	82.91	17.86

	今回	前期	増減	億円
製品売上高(ガス売上高)	14,550	13,184	1,366	10.4%
営業費用				
原材料費	9,366	8,068	1,298	16.1%
(粗利)	(5,184)	(5,116)	(68)	(1.3%)
諸給与	933	974	-41	-4.2%
諸経費	2,447	2,395	52	2.2%
減価償却費	1,018	1,020	-2	-0.2%
LNG受託加工費	-48	-48	0	-
計	13,716	12,410	1,306	10.5%
受注工事収支	9	3	6	200%
器具販売等収支	104	103	1	1.0%
営業雑収支	113	107	6	5.6%
附帯事業収支	203	167	36	21.6%
営業利益	1,150	1,048	102	9.7%
営業外収支	0	97	-97	-100.0%
経常利益	1,150	1,145	5	0.4%
特別利益	0	10	-10	-
特別損失	20	13	7	-
法人税等	340	356	-16	-4.5%
当期純利益	790	785	5	0.6%

数量・料金構成差+40億円、単価差+1,326億円
数量・原料構成差+141億円、単価差+1,157億円(為替影響+1,491、油価影響▲292)
数量・構成差▲101億円、単価差+169億円
数理計算上の差異費用▲22億円、人員減 他
詳細は下記参照
新設件数増 他
器具収支 温水システム+5億円、GHP▲3億円 他
電力販売+19億円、LNG販売+14億円 他
関係会社受取配当金▲64億円(当期51、前期115)、専用設備料収入▲20億円 他
前期:投資有価証券売却益10億円
今期:固定資産減損損失等20億円、前期:固定資産減損損失13億円

諸経費

	今回	前期	増減	億円
修繕費	366	363	3	0.8%
消耗品費	145	149	-4	-2.7%
賃借料	181	178	3	1.7%
委託作業費	646	642	4	0.6%
租税課金	460	440	20	4.5%
需要開発費	250	247	3	1.2%
その他	399	376	23	6.1%

売上高増に伴う事業税増+16億円 他
光熱費+8億円、本支管除却費+7億円 他

個別 営業主要計数内訳(今回見通し 対 12年度)

通期見通し

お客さま件数

千件

	今回	前期	増減	
お客さま件数	10,810	10,678	132	1.2%
新設件数	226	208	18	8.2%

ガス販売量内訳

百万m3

百万m3

		今回	前期	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		366.9	382.7	-15.8	-4.1%	気温影響▲11.7m3(▲3.0%)、日数差異▲0.9m3(▲0.2%)、その他増減▲3.2m3(▲0.8%)
家庭用		3,334	3,427	-92	-2.7%	気温影響▲103百万m3(▲3.0%)、日数差異▲6百万m3(▲0.2%)、件数差異+44百万m3(+1.3%)、その他増減▲27百万m3(▲0.8%)
業務用	商業用	1,764	1,769	-4	-0.2%	
	その他用	895	921	-26	-2.8%	
・	業務用計	2,660	2,689	-30	-1.1%	気温影響▲5百万m3(▲0.2%)、その他増減▲25百万m3(▲0.9%)
工業用	発電専用	3,050	2,856	194	6.8%	
	発電専用以外	3,119	3,033	86	2.8%	
	工業用計	6,170	5,889	281	4.8%	既存物件稼働増
計		8,829	8,578	251	2.9%	
卸供給		2,241	2,196	45	2.1%	気温影響▲7百万m3(▲0.3%)、卸先需要家の既存物件稼働増+52百万m3(+2.4%)
合計		14,404	14,201	203	1.4%	気温影響▲115百万m3(▲0.8%)、発電専用+194百万m3(+1.4%)、工業用(発電専用以外)+86百万m3(+0.6%)、卸供給(気温影響除き)+52百万m3(+0.3%)、その他▲14百万m3(▲0.1%)
(内大口供給)		7,372	7,096	276	3.9%	

連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳

営業キャッシュフロー

(今回見通し 対 前回見通し)

億円

<連結>		今回1/31	前回10/30	増減	
	当期純利益	970	1,030	-60	-5.8%
	減価償却	1,390	1,390	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)		2,360	2,420	-60	-2.5%

<個別>		今回1/31	前回10/30	増減	
	当期純利益	790	840	-50	-6.0%
	減価償却	1,056	1,059	-3	-0.3%
営業CF(当期純利益+減価償却)		1,846	1,899	-53	-2.8%

(今回見通し 対 前期通期)

億円

<連結>		今回1/31	前期	増減	
	当期純利益	970	1,016	-46	-4.5%
	減価償却	1,390	1,387	3	0.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)		2,360	2,404	-44	-1.8%

<個別>		今回1/31	前期	増減	
	当期純利益	790	785	5	0.6%
	減価償却	1,056	1,059	-3	-0.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)		1,846	1,844	2	0.1%

設備投資内訳

(今回見通し 対 前回見通し)

億円

		今回1/31	前回10/30	増減	
東京ガス	製造設備	284	284	0	0.2%
	供給設備	906	933	-27	-2.9%
	業務設備他	184	207	-23	-11.2%
	計	1,375	1,425	-50	-3.5%
連結子会社設備投資*		1,105	1,115	-10	-0.9%
合計		2,480	2,540	-60	-2.4%

供給設備 : 保安関連▲9億円、その他供給設備他▲18億円

業務設備他 : その他業務設備他▲23億円

(今回見通し 対 前期通期)

億円

		今回1/31	前期	増減	
東京ガス	製造設備	284	228	56	24.6%
	供給設備	906	875	31	3.5%
	業務設備他	184	166	18	10.8%
	計	1,375	1,271	104	8.2%
連結子会社設備投資*		1,105	568	537	94.5%
合計		2,480	1,837	643	35.0%

製造設備 : 日立LNG基地関連他+56億円

供給設備 : 需要開発関連+16億円、保安関連他+15億円

業務設備他 : その他業務設備他+18億円

連結子会社設備投資 : 海外投資(バーネット)他

*上記2表の「連結子会社設備投資」には連結相殺含む

東京ガス株式会社

＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東